

第 1 回加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の主な意見等

開催日時：令和 4 年 2 月 25 日（金）15：30～17：00

開催場所：オンライン会議

出席委員：武田委員、高山委員、道地委員、北村委員

事務局：深村副市長、横堤政策戦略部長、藏政策戦略部政策官、柴田総務部長、
岡田政策戦略部次長、小出仙スマートシティ課マネジャー、奥野財政課長、
細野スマートシティ課リーダー 他

- 次 第：1. 開会挨拶
2. 委員紹介
3. 委員長の選出について
4. 公共施設の状況について
5. 検討の進め方と方針について
6. その他

主な意見等

4. 公共施設の状況について

- ・本委員会で検討する「温浴施設、大ホール機能、スポーツ施設、地区会館以外の集会施設、図書館等」だけでも、かなりの施設があり、3 月末までにすべての施設について検討を深めることは難しいので、施設を絞り現地調査や利用状況などを踏まえて検討していく。

●温浴施設

- ・錦城、山代、片山津には各 1 施設であるのに対し、山中には 3 つの施設があり、老朽化も進んでいるため、山中の施設を検討する。中でも、ゆけむり健康村は、市の維持運営負担額が他の施設よりも非常に大きな施設となっているため、検討対象とする。
- ・ゆけむり健康村は、温浴施設の他、プールやフィットネスジムなどがある多機能併設の施設となっているので、各機能の状況を踏まえて、検討を進める。
- ・次の情報を整理し、検討を進める。
 1. 施設の必要性や効果
 2. 施設を廃止した場合の代替施設
 3. 施設を廃止した場合の削減コスト（更新費及び維持管理費）

●集会施設・大ホール機能

- ・近隣自治体でもあまり設置されていない収容人数が1,000人を超える大ホールを有する文化会館及び山中温泉文化会館を検討対象とする。
- ・次の情報を整理し、検討を進める。
 1. 利用頻度
 2. 主な利用者及び利用目的

●スポーツ施設

- ・様々な種類があるので、まずは耐用年数が超過もしくは迫っているプールから検討する。
- ・稼働していない施設もあるので、現地視察を行い、各プールの維持管理の状況や配置関係等を把握したうえで検討を進める。

●図書館

- ・教養や文化の側面が強いことから、早急な判断は難しい。
- ・公共施設マネジメントを進めるためには、デジタル化を進めるなどにより、より機能を高めて利便性を確保できるとよい。
- ・維持運営に費用は掛かっているが、耐用年数まで20年以上あるので、今の段階でどちらかを整理する必要はないと判断し、今回の評価の対象からは外す。